

2022年1月25日

各位



タイにおける太陽光発電システムおよび蓄電池導入プロジェクトについて

株式会社兼松 KGK (以下、「KGK」) は、タイの Blue Solar Co., Ltd. (以下、「Blue Solar」) と共に、タイのspanブリ県で太陽光発電システムおよび蓄電池の導入 (以下、「本プロジェクト」) を行います。

本プロジェクトは、環境省が実施している「二国間クレジット制度 (JCM: Joint Crediting Mechanism) 資金支援事業のうち設備補助事業※」 (以下、「JCM 設備補助事業」) に採択され、タイにおける蓄電池を活用した JCM 設備補助事業としては初の採択案件となりました。本プロジェクトは、タイ政府と日本政府の協力の下で実施され、KGK と Blue Solar が 35MW の太陽光発電システムと大容量蓄電池の導入を行い、2022 年 12 月より Electricity Generating Authority of Thailand (タイ電力公社、以下、「EGAT」) へ電力の供給を行います。EGAT への電力供給量は年間約 44GWh を見込んでおり、同国の電力の安定化に貢献します。また、エネルギー源の脱炭素化による温室効果ガス排出削減量は年間約 13,000 トンとなり、JCM の枠組みを通じた事業の実施により、日本の温室効果ガスの排出削減目標の達成にも寄与します。

KGK は 2018 年より JCM 設備補助事業に参画しており、本プロジェクトは、タイ/食品工場への 0.8MW 太陽光発電及び高効率冷凍機の導入 (2018 年度)、ベトナム/アンザン省における 49MW 太陽光発電プロジェクト (2019 年度)、ベトナム/アンザン省における 57MW 太陽光発電プロジェクト (2020 年度) に続く 4 件目の採択となり、4 件の温室効果ガス排出削減量の総合計は年間約 66,000 トンとなります。東南アジア地域では今後も再生可能エネルギーによる発電システムや、エネルギー貯蔵システムの更なる導入が計画されています。KGK は今後も同地域および世界各国において、気候変動対策や持続可能な社会の実現に貢献する事業に取り組んでまいります。

※二国間クレジット制度 (JCM: Joint Crediting Mechanism) 資金支援事業のうち設備補助事業

優れた脱炭素技術等を活用し、途上国等における温室効果ガス排出量を削減する事業を実施し、測定・報告・検証 (MRV) を行う事業。途上国等における温室効果ガスの削減とともに、JCM を通じて我が国及びパートナー国の温室効果ガスの排出削減目標の達成に資することを目的とする。優れた脱炭素技術等に対する初期投資費用の 2 分の 1 を上限として補助を行う。

【完工イメージ図】



以上

<本件に関するお問い合わせ>
株式会社兼松 KGK GX 推進部
Email: energy032@kgk-j.co.jp